

F-4 標準生活費に関する研究(第2報)

杉野女大家政 ○横山光子 相馬俊子(1) 宮崎礼子(2) 伊藤セツ(3)
今城治子(4) 武長脩行(5) 内藤道子(6) 森子有美(7)

目的 家庭経営研究委員会における標準生活費の研究部会 第一報は 第28回家政学会総会において 宮崎礼子が代表して発表した。その後 人事院・標準生計費の具体的な検討に着手し 次いで各経済理論生計費およびそれに類する生活費を検討し、その過程を経て生活費算定の方法論およびその算定結果を導き出すことに努力した。

方法 われわれの費目分類に基づいて 個別算定を積みあげてゆく方法をとる。積みあげ方式に対する 従来行われていた批判を念頭にふつつも、その克服は実際算定の場面に乏しい困難のみ。にも拘らず、あえて算定しようと試みることは、人事院標準生計費が唯一のものとして、その影響が甚大でありことに於いて、家庭経営の立場から 現時点における算定が意義をもつていふと考へておるに過ぎない。

結果 家族としての設定は、夫婦と高校生中学生の4人世帯のみを設定し、とくに把握しておきたい部分については、別枠算定として提起することと心がけた。

所属 (1)横浜国大教育 (2)日本女大家政 (3)都立立川短大 (4)群馬大教育
(5)且白学園短大 (6)淑徳保育専門 (7)法政大学院経済専攻